

## 6 月チャプレン便り

# 「素直に受け入れる」

人は、時として自分自身を正直に見つめることができないことがあります。

〇 子さんという年配のご婦人の方が、こんな話をしておられました。

それは、まだ結婚したての頃でした。ある時、お姑さんから、「あなたの味噌汁はからい」と怒られたのだそうです。それがくやしくて、なんと50年以上もたち、お姑さんもすでに亡くなっているのに、まだ忘れられないと言うのです。

でも、もし味噌汁がまだ上手ではなかった自分を、もっと素直に受け入れてさえいけば、「お母さん、私、お味噌汁作るの苦手だから、教えてください」と言えたのではないか。そしてその後は、お姑さんからも可愛がられるようになっていたのではないか。そうすれば、こんないやな気持ちをいつまでも持ち続けなくてもよかったのではないかと、付け加えて、お話しされていました。

人は、自分の欠点や苦手なところを指摘されると、なんとなく素直になれなくて、腹立たしく感じるものです。それは、認めたくない自分、隠しておきたい自分が明らかにされるのがイヤだからではないでしょうか。

しかしもし、ありのままの自分をもっと素直に認めることができたなら、楽になり、今以上に輝いて生きることができるのではないのでしょうか。

私たちは、ありのままの自分があるがままで受け入れてくださる方との出会いによって、はじめて、素直に自分を受け入れることができるようになります。私たちをありのままに愛し、受け入れてくださる方がおられます。それが私たちの神なのです。

### 聖書の言葉

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」

イザヤ書43章4節（新改訳聖書）

石川三育保育園チャプレン 北 睦夫